

## 議長定例記者会見（H26.12.9）

### （報告）

お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。  
ございました。

それでは、まず、はじめに、11月定例会採決結果についてご報告いたします。

知事提出議案56件のうち平成26年度青森県一般会計補正予算案を含む議案44件を可決・同意・認定し、報告のみが12件ありました。

議員派遣につきましては、海外派遣1件、国内派遣1件の併せて2件を可決いたしました。

請願及び陳情については、受理された4件のうち、請願1件が採択され、請願2件及び陳情1件については不採択となりました。

次は、県内の原子力施設の新規制基準への対応等についてでございますが、去る11月21日に議員説明会を開催し、事業者から直接説明を受けたところでございます。

これを受けまして、特別委員会の委員長に原子力・エネルギー対策特別委員会を開催していただきたいと申し入れを致しました。

昨日、国及び事業者に対し、委員が質疑を行ったところでございます。

次は、政務活動費についてでございますが、去る9月2

日に出された住民監査請求に係る監査結果におきましても、「透明性の向上について検討されたい。」との意見が付されたところであります。

このような状況を踏まえますと、県民の理解と信頼を得るためには、政務活動費の透明性をより一層高めていくことが、われわれ議員に求められていると言えます。

このため、11月19日には、「議会改革検討委員会」に対して、政務活動費の透明性の向上を図るための方策について諮問したところでございます。

それを受けて、11月21日と今月5日に、「議会改革検討委員会」を開催し、検討を進めているところであります。

最後となりますが、本日、12月9日、昨年の12月9日に79代目の議長を拝命し就任してちょうど1年、本当に1年間あっという間でございまして、いろいろな行事もありましたけれども、つつがなく終えることができました。

これからも、任期の4月いっぱい、頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

あと衆議院議員総選挙の話ですが、今回の11月21日が今定例会の開会日で、そのとき国会が解散しました。

そして、今日9日が定例会の閉会日ですけれども、14日が衆議院議員総選挙の投票日ということで、今回の総選挙が、280回のこの定例議会と全く重なってしまったというのは大変なことでした。

私は、議員のみんなには公務優先と言ってきました。

自分もそれを律してやってきたつもりであります。

私からは以上でございます。

#### ○ 記者

補正予算で、米の下落対策が今日可決されて、これから米農家への支援が本格的に始まると思いますが、この点について議長の思いを伺いたいんですが。

#### ○ 阿部議長

食管法の廃止があり、それから自主流通米への転換というふうに施策が進められてきた中で、米価の下落というのは、農家の方々もある程度承知はしていたとは思いますが、それがこれほど急激に米価が下落するということであれば、来年の稲作の再生産のための準備資金さえ不足する状態となっています。

我々議員が、西津軽郡等を廻った時、あの地域は多収地帯ですから、本当に切実な要望を受けてましたので、県に対しても、それ相応の対応をしていただきたいと思っています。

青森県は、以前から第1次産業が基幹産業だと言ってるのだから、きちんと対応しなければだめだということを県に要望して、また、さらにこれから何が必要なのかということも議会で検討していきたいと思っています。

こういう米価が大幅に下落する時は、いずれは来るだろうということは、思っていました。

当然、米価が、いまの値段のまま続くことは無いと思っていましたけれども、こんなに早く米価が大幅に下落することはないだろうと思っていました。

○ 記者

今回の定例会で、一般質問で知事が出馬表明された訳ですけれども、そのことに対する議長の所感と、定例会で知事は今回で4回連続ですか、一般質問で答える形で出馬を表明していたんですが、こういうスタイルについて何か思うところがあれば、聞きたいのですが。

○ 阿部議長

これは、知事の考えだからね。

私かとやかく言うことではないと思ってます。

今回の11月議会というのは、そのタイミングなんだと思います。

来年6月が知事選ですから、知事の思いもあつての表明ということになったと思いますから、私が云々言うことではないと思います。

○ 記者

議会の長として、三村知事が「未来は変えるんだ。」という決意を述べていたんですが、その意気込みに対して期待することとかあれば聞きたいんですが。

○ 阿部議長

私も与党の一員ですからね。

十分みんなとこの件についても議論してきていますし、知事の4選についても、みんなで頑張っていこうという思いもあって、自民党の一番の重鎮である成田議員からの出馬要請という形になりました。

それは、我々が議論をして集約したものであり、それがあの一般質問での決意表明になった、と思っています。

○ 記者

さまざま、期待する分とか政策とかは、これからになるのですか。

○ 阿部議長

いまこれから、政調会でいろいろ県政に対する政策論を作っていきます。

そして、すり合わせという形になると思っています。

本来であれば、そういう流れで進めていくべき中で、予定していない衆議院議員の総選挙が挟まってきたものだから予定どおり進めませんでした。

なんととっても永田町の国会議員のメンバーの方々に先に火がついたのだから大変でした。

○ 記者

議長が公務優先でやってくれというふうに議員の方にお話ししていたんですけど。議長の指示どおり公務優先でやっていたんでしょうか。

○ 阿部議長

公務優先でやっていました。

遅刻してきた方々はいましたが、雪の影響で遅れました。

その辺は確認してきました。

しっかりとやっていました。

明日から適当にやれと言いました。

衆議院議員総選挙も終盤ですからね。

あと中4日ですからね。

## ○ 記者

あと任期4カ月半程度でこれだけはやっておかなければいけないということはありませんか。

## ○ 阿部議長

議会改革の中で政務活動費の透明性向上のために私が諮問した方策に対する答申が提出されます。

あの議会改革検討委員会のメンバー達が、あと3カ月ぐらいしかない中で、政務活動費に係る、より透明性を増した方策で答申を提出してくるだろうと思っています。

それが、私が今一番きちんと整理するべきことであり、それを次の方々へバトンタッチしていくべきだろうなと思っています。

司法の方も1回目の口頭弁論は終わってるし、2回目が2月というふうに聞いていますので、そこから出されてきたものは、議会としてもきちんと受け止めなければならないと思っています。

我々がマニュアルの精度を高めてきたというのは、何回も皆さんに言ってきましたし、そのマニュアルに沿って政務調査費や政務活動費を報告してきたというのも、事実です。

さらに、司法の方からも、もう少しああしたらいいとか、こうしたらいいという判断が、いろいろ出てくるだろうと思います。

そこは、耳を立てて、聞いていき、より精度の高いマニュアルを作っていかなければならないと思っています。

それが、県民に対する我々議員の務めだろうなと思っています。

以上です。